

月寒・東月寒地区 学校配置検討委員会ニュース

発行
2023年7月24日

月寒・東月寒地区では、あやめ野小学校の小規模化による課題の解決等のため、令和5年2月より「学校配置検討委員会」（以下、「検討委員会」といいます。）を設置し、検討を進めております。

この度、令和5年6月15日に第2回学校配置検討委員会を開催いたしました。検討状況につきまして、地域の皆様へお知らせしますので、是非とも多くのご意見をお寄せください。

検討委員会の配布資料等については札幌市教育委員会のホームページに掲載しています。

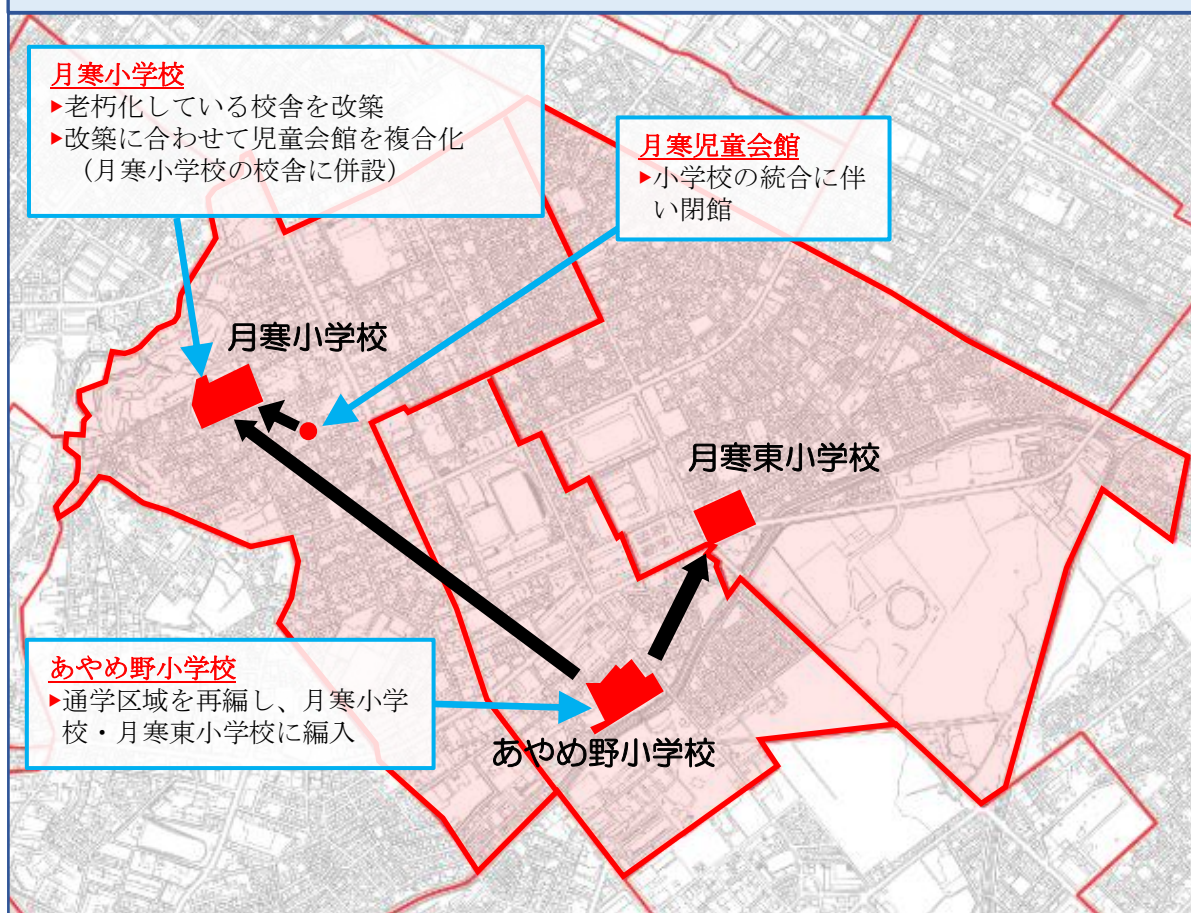


<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/tsukisamu-higashitsukisamu.html>

※第1回検討委員会の後、計6件のご意見等が寄せられました。第2回検討委員会の資料として検討委員会内で共有しております（上記HPで公開）。内容に応じた協議の中で参考とさせていただきます。

「取組案」は1つの案であり決定事項ではありません

あやめ野小学校・月寒小学校・月寒東小学校を中心とした取組案の図



札幌市と教育委員会は、検討委員会で協議を進めるためのたたき台となる「取組案」を作成し、第1回検討委員会（令和5年2月27日開催）において提示しました。

検討委員会では、引き続き、この「取組案」をたたき台として、学校規模の適正化を図る場合に考えられる課題と解決策などについて、協議、検討していくこととしています。

1. 小規模化する学校で生じる課題等について

意見・質疑応答の概要

※類似の発言内容をまとめるなど文言を整理して掲載しています。

※「●」・・・委員からの意見、質問等

※「⇒」・・・委員、札幌市・教育委員会職員からの説明、回答

- 具体化・数値化した小規模校のメリット・デメリットが知りたい。また、子ども視点だけでなく大人視点でのメリット・デメリットがあれば知りたい。
- 小規模校では、児童に手厚い対応ができ、余裕を持ってグラウンドや教室を使えるというメリットがある一方で、教職員の数も少なく、担当も固定化しがちになってしまうというデメリットがある。
- 自分の子どもはあやめ野小を卒業して中学校で大人数と関わることになった時、なかなか友達を作れなかった。1学級しかないのと、転校生が来る以外は6年間新しく友達を作る機会がないことが小規模校の弊害と言えるのでは。

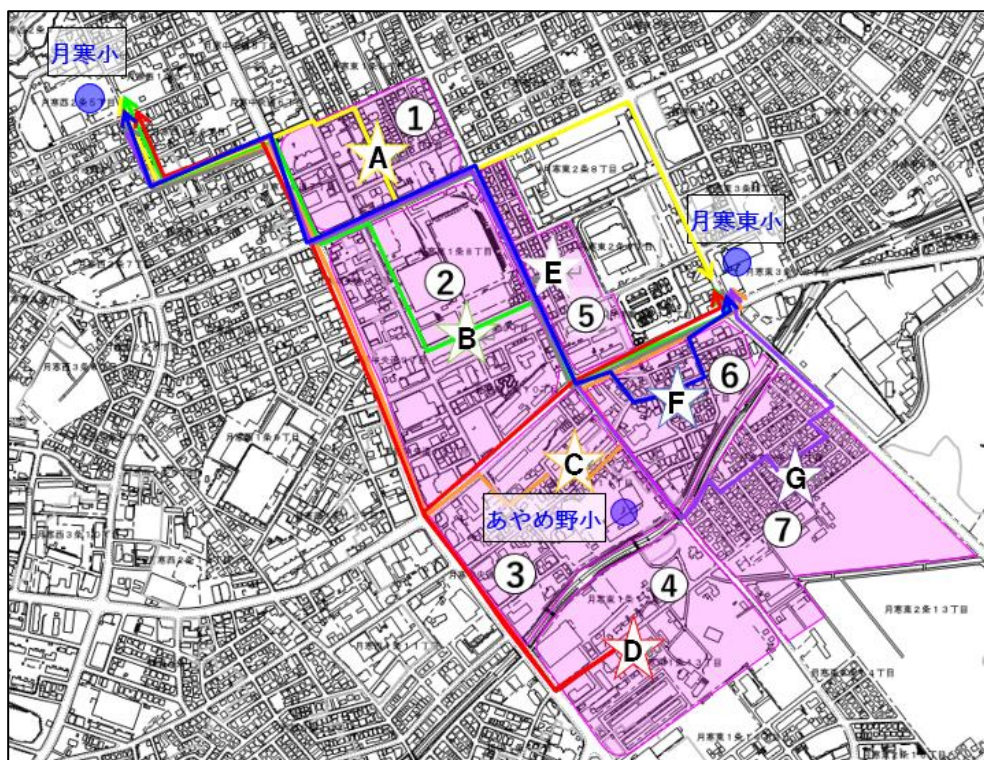
【協議結果】

○小規模校のメリット・デメリットについて、事務局が具体例を資料として準備し、継続して協議する。

2. あやめ野小校区内の児童生徒分布状況と通学距離について

※下記資料は、第2回検討委員会で使用し、本市HP上でも掲載している【資料4】の一部抜粋です。

※距離・時間は、目安として設定したもので、通る道や道路状況で前後します。



星A～星Gの各地点から月寒小、月寒東小への距離及び所要時間

	月寒小	月寒東小
① (星A)	約670m (約13分)	約990m (約20分)
② (星B)	約1,076m (約22分)	約660m (約13分)
③ (星C)	約1,500m (約30分)	約550m (約11分)
④ (星D)	約1,760m (約35分)	約1,340m (約27分)
⑤ (星E)	約1,230m (約25分)	約700m (約14分)
⑥ (星F)	約1,560m (約31分)	約300m (約6分)
⑦ (星G)	約1,940m (約39分)	約525m (約11分)

①～⑦の区域内の令和4年時点の児童数(人)

①	②	③	④
15	25	41	10
⑤	⑥	⑦	合計
20	27	19	157

意見・質疑応答の概要

- 距離で言えば、①は月寒小、②～⑦は月寒東小が近い。だが仮に②～⑦の児童が月寒東小の校区となった場合、月寒東小の校舎に入ることができるのか。
- 増築する場合、どういう風に教室が増えて何人児童が入るのか資料化してほしい。

⇒【教育委員会】

- ・ 仮に②～⑦が月寒東小の校区になった場合、今の校舎では教室が不足する事が想定され、増築の必要があります。増築は可能であると考えています。
- ・ 増築を想定した図面を今後の検討に向けて準備します。

- あやめ野小から月寒小もしくは月寒東小へ振り分けることを考える際に、校舎の収容可能キャパ（受入可能児童数）をまずは考えるべき。月寒小の改築も近いので、校区の設定や月寒東小のキャパによっては、月寒小改築にも影響する。
- 通学路の安全確保について、危ないところがあるならば、安全に通れるよう検討していければいい。
- どちらの学校にも通える区域（指定変更区域）を設定すると、学校側としては次年度何人来るのかわからず困ってしまう。

⇒【教育委員会】

- ・ 指定変更区域を広く設定した場合、新年度開始直前まで入学者数・学級数が確定せず、学校にとっては受入準備が大きな負担になります。よりよい教育環境を準備するための運営面から考えると、指定変更区域による影響は極力限定する方が望ましいと考えます。

【協議結果】

- 月寒東小への統合した場合に受け入れる児童数と、必要となる教室数に基づく増築のイメージ図を事務局が準備した上で、継続して協議を行う。

3. その他

意見・質疑応答の概要

- 特別支援学級の児童については、統合による影響の変化がより大きく影響すると思うので、別の学校に行くことになっても継続した支援が受けられるよう配慮してほしい。
- 野球チームやクラブ活動など、学校が統合となったら練習場所や練習時間などがどうなるのか考えた方がいい。

⇒【教育委員会】

- ・ 統合となる事が決まってから開校までは一定の期間があるので、その期間に学校同士やクラブ活動間の引継ぎをしていくこととなると考えています。

- あやめ野小跡地にあやめ野中を移転するのがいいと思う。あやめ野小跡地は避難所としても良い立地である。
- 小学校を中学校に移転させることは可能なのだろうか。あやめ野小跡地にあやめ野中を移

転する場合、費用はどのくらいになるのか。

- この場に中学校関係者がいないのに中学校の移転について議論するのは適切ではないと思う。

⇒【教育委員会】

- ・あやめ野小跡地についての議論は、統合についての方向性が決まった後の話なので具体的な議論は次の段階になると思いますが、意見としては事務局として受け止めたいと思っております。
- ・あやめ野小跡地にあやめ野中を移転する場合の概算費用について一定の目安を資料としてお示しできるか検討させていただきます。

次回の検討委員会について

- ▶会議名 第3回 月寒・東月寒地区 学校配置検討委員会
- ▶開催日時 2023年(令和5年)9月19日火曜日 16時00分～17時30分
- ▶開催場所 月寒公民館(豊平区月寒中央通7丁目8-19)

※検討委員のみが参加する会議のため、一般の方は入場できません。内容は後日ニュースレターやホームページでお知らせします。
また、日程は都合により変更となる場合があります。

次回(第3回)検討委員会の議題(予定)

- ▶第2回検討委員会の振り返り
- ▶地域や保護者の皆様から寄せられた声の紹介
- ▶増築後の校舎の教室数や受け入れ可能な児童数を踏まえた校区割の検討
- ▶その他、当日協議を行う必要があるもの

ご意見、ご質問は、下記事務局までお寄せください。

月寒・東月寒地区 学校配置検討委員会事務局

- ▶札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課(学校配置マネジメント担当)
- ▶電話:011-211-3836 FAX:011-211-3837
- ▶e-mail:gakkokibo@city.sapporo.jp

検討委員会の開催概要は札幌市教育委員会のウェブページにも掲載しています。

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/tsukisamu-higashitsukisamu.html>

学校規模適正化 月寒・東月寒

検索



さっぽろ市
02-S01-23-1355
R5-2-934

SAPPORO